

# 鳥取みどり園と日本画家が共同制作 世界に一つのアート作品

## きょうから創立70周年記念絵画展



園児が画用紙いっぱいに描いた絵に四季の色づけをする日本画家の原さん(右から3人目)=22日、鳥取市立川町5丁目の鳥取みどり園

鳥取市立川町5丁目の鳥取みどり園(西垣恭子園長)の創立70周年記念「現代国際巨匠絵画展」の開催を前に22日、同園園児と日本画家の原宏之さんが絵画の共同制作に取り組んだ。

春夏秋冬をテーマに、動物や花々を画用紙いっぱい、元気に描き込み、世界に一つだけのアート作品が仕上がった。

子どもたちは四季ごとに4グループに分かれ、図鑑を見ながら好きな昆虫や花、果物などを次々と描き込んだ。園児がカブトムシやヒマワリを描いた「夏」

のグループでは、原さんがカブトムシを取り囲むように大木を描くと、子どもたちは「夏だ」「本物みたい」と歓声を上げた。

23日に鳥取市のとりぎん文化会館で開幕する絵画展ではピカソやシャガール、東山魁夷らの名画約120点と園児の作品展が同時開催される。(三野夏美)

### きょうの紙面

旧暦6月14日  
スポーツの日

#### 東京五輪関連ニュース

2、3、4、8、9、10、20、22、23面



#### 園児と画家が共同制作 20



鳥取市の鳥取みどり園の創立70周年記念・現代国際巨匠絵画展の開催を前に22日、園児と画家が絵画を共同制作した。

地域 報酬上げ反対派に追い風 21

# 日本画家・原さん 園児と描く四季

鳥取みどり園、創立70年

鳥取市立川町5丁目  
の「認定こども園鳥取みどり園」で22日、園児25人と日本画家の原宏之さんが絵画を制作した。23日から鳥取市尚徳町のとりぎん文化会館で始まる創立70周年記念チャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」で展示する。25日まで。

鳥取みどりの園は1951年に創設。鳥取こども学園が運営し、今年4月に保育所から幼保連携型認定こども園に移行した。この日は



絵を描く原宏之さん  
(左)と園児。鳥取市立川町5丁目

絵画展に出品する日本画家の原さんを招き、春夏秋冬をテーマにした絵画4枚を、園児と一緒に共同制作した。夏がテーマの作品では、園児がカブトムシやスイカを描き、原さんが絵の具で木を描いた。佐々木一真くん(5)は「木がきれい。おもしろかった」と話した。絵画展は、ピカソ、シャガール、平山郁夫の版画作品など約120点を展示。園児155人の作品もある。入場無料。

(ライター・田中泰子)

## 鳥取みどり園70年 巨匠絵画展で祝う

「鳥取みどりの園」(鳥取市)が創立70周年を迎え、幼保連携型認定こども園に移行したことを記念する「現代国際巨匠絵画展」が、鳥取市の「とりぎん文化会館」で開かれている。25日まで。

福島県出身の日本画家・原宏之さん(60)の作品やシャガールらの複製画など計約120点を展示販売。チャリティー絵画展を企画する「ほるぷA&I」(大阪府)の協力で、販売収益の一部がみどりの園の給食室リフォーム費に充てられるという。

22日に同館で前夜祭があり、原さんが出席。ギャラリートークで「花弁の小さな花が好き」と話し、長野県で菜の花を描いた絵などを紹介した。

午前10時～午後6時。入場無料。原さんのサイン会も開く。



絵画展の作品を紹介する原さん(鳥取市で)